

令和5年度病害虫発生予察注意報第17号

令和6年3月1日
愛知県

作物名：コムギ
病害虫名：うどんこ病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 令和5年5月下旬の巡回調査において、うどんこ病の発病茎率及び発生ほ場率が過去10年で最も高かったことから、越年菌量が多いと予想される。
- (2) 冬季の気温が高く経過したためコムギの生育が進んでいる。うどんこ病は、春が温暖で雨が多く、コムギが早くから繁茂した年に発生が多い。
- (3) 本県のコムギの主力品種である「きぬあかり」はうどんこ病にやや弱い。

4 防除対策

- (1) 発病を確認したら、下表を参考に防除を行う。特に、前年に発生の多かった西三河地域は初発に注意する。
- (2) 穂及び止葉を含む上位2葉に多発すると、千粒重が低下する。止葉直下葉の展開期～止葉抽出期に薬剤防除を実施する。なお、赤さび病と同時防除する場合は赤さび病にも登録のある農薬を使用する。また、同一系統の剤の連用を避けるため、**今後の赤かび病の防除を考慮して薬剤を選定する。**
- (3) 本病の病斑は、下葉から発生し、上位葉に進展するため、下位葉に届くように薬剤を散布する。

表 ムギ類うどんこ病の主な防除薬剤（コムギ）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布	3

(無人航空機用)

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2023.pdf を参照する。
薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-41-9513